

●京都府立丹後海と星の見える丘公園

<p>前回検証結果 (平成 26 年度)</p>	<p style="text-align: center;">継 続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の京都」等、府の地域構想と連動した活用方法・打ち出し方を検討すること。 ・設置目的に照らした目的達成の指標を設定し、募集要項に盛り込むこと。 ・利用者数等の目標値を設定するに当たっては、プログラム参加者数や宿泊者数等、実測が可能な指標を採用すること。 ・施設の魅力や知名度を高めるため、本庁・振興局の行政部門や教育委員会・教育局の社会教育部門との連携により、施設の運営に携わる団体のサポートを行うこと。 ・引き続き、利用者数の拡大に向けた営業活動の展開や自主事業の実施等、利用促進の取組を行うこと。
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海の京都HPでの紹介など、「海の京都」と連携した取組を実施。 ・平成 27 年度指定管理者募集時に、「環境学習プログラム等の参加者数」等数値目標を設定。 ・指定管理者の業務をサポートするため、庁内各方面の協力依頼・調整を図った。また、コンサル企業や旅行会社などと魅力や知名度向上に向けた協議を実施。 ・冬期の閉園期間を中心に、府と指定管理者が連携し府内の小中学校などを訪問。 ・環境フェスティバルに出展し、PR活動を実施。 ・アースデイ丹後やアールブリュットなど、新たな取組により利用を促進。
<p>取組の結果</p>	<p>◇直近 3 箇年の実績として、平成28年度と比較し、平成30年度は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園者数が約 3 %増加 ・環境学習プログラム等参加者数が約36%増加
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成 28 年度と比較すると、平成 30 年度は利用者数は増加しているが、利用料金収入の増加につなげていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 約 2 %減少 ・府負担割合 90.0% ◆更なる利用者数の増加のため、交通アクセスの改善に向けた工夫が必要。 ◆5 年前（前回検証前）と比較すると、依然として主要施設の利用率は低い。
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □綿密なマーケティングによる利用率、利用料金収入の向上が必要。 □小学校や中学校の課外事業として、府や市のバックアップを検討すべき。 □今後の投資に見合う利用者数・利用料金収入の増加のバランスについて検証が必要。 □同じ団体が管理を継続するメリット・デメリットについて検証すべき。

<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p style="text-align: center;">継 続</p> <p>◎SDGsに関する発信や観光資源との連携等、施設の存在や設置意義をアピールするための取組を行い、認知度の向上を図ること。 ◎引き続き、利用者数の拡大に向けた自主事業の実施等、利用促進の取組を行うこと。</p>
	<p>〈今後の対応〉</p> <p>○市内・市外各方面との連携により、以下の取組を進める。 ○SDGs17の目標のうち、関係の深い目標（例：エネルギー、海洋資源、陸上資源）を中心として、当園の果たす役割をPRできるような取組を展開する。 ○環境フェスティバルや、子どもが多く集まるイベント等への出展により、環境学習施設として積極的な情報発信をすることで、認知度の向上を図る。 ○丹後地域の里山、里海が育んだ文化や産業の紹介等地元と連携した取組や、再生可能エネルギー、健康、スポーツなど取組の幅を拡げ、利用促進につなげる。</p>